



ファシリテータ認定プロセス Facilitator Certification Process (FCP)

株式会社マネジメントサービスセンター

目的

- DDIのIMコースを実施するために必要なDDI学習システムズ認定ファシリテータ資格を取得する。
- 優れたファシリテータに求められるコンピテンシーとキー・アクションを発揮する。
- ファシリテーションに関する自身の強みと啓発点を徹底的に把握する。
- 学習したことを効果的に職場で適用するためにIMのマテリアルやツールを活用する。
- クラブルームでの学習にとどまらず、人材の能力開発を支援する自身の役割を理解する。

利点

- ファシリテータが自社のチェンジ・エージェント（変革推進者）になるための能力が身に付く。
- DDIのリーダーシップ能力開発プログラム「Interaction Management[®]（IM）」（約40種類）を実施する際に必要なスキルを習得し、強化できる。
- 効果的かつ効率的な学習と実習を通じて、組織がビジネス成果を達成するための支援を行うことができるようになる。
- DDIの主要アプローチとして、行動モデリングを実証する。（DDIの主要アプローチとして行動モデリングを実証し、学習を通じて行動変容を促すことができる）。
- 継続的な学習と職場適用に役立つファシリテータ用のツールが提供される。
- 社内ファシリテータにより、費用対効果の高いリーダーシップ／人材育成カリキュラムを実施することが可能になる。

ファシリテーターの役割

▶ 認定を受けた優れたファシリテータにより、学習者を引き込み学びを促進させます。

ファシリテータに求められる3つの役割が果たされることで、学習者（及びその組織）はメリットを得られます。

社会人学習者はニーズが様々であり、有能なファシリテータが以下2点を把握しています。

- ・ 学習者が各セッションに固有の経験、才能、育成ニーズを持ち込むことを知っている。
- ・ 社会人学習者のニーズと好みを明確に把握している。

さらに、ファシリテータが右図の4つのコンピテンシー（及びキーアクション）を発揮することで、学習者はセッションの価値を見出し、学びを深めていきます。



スケジュール（例）

<最大1クラス6名>

1日目	2日目	3日目
<ul style="list-style-type: none">> 学習プログラムとアプローチ> 4つのコンピテンシー> ファシリテータの責務> ファシリテータの重要な役割や行動の理解を深める5つの演習> ポジティブ・モデル> 資格認定プロセス> 1回目のファシリテーション実習の割り当てと準備	<ul style="list-style-type: none">> 1回目のファシリテーション実習> フィードバック> クラブルームでの困難な状況> 2回目のファシリテーション実習の割り当てと準備	<ul style="list-style-type: none">> 1回目とは異なるモジュールで2回目のファシリテーション実習> フィードバック> 学習の継続> まとめ

DDIのファシリテータ・マテリアル



- ファシリテータ・ガイド：
 - 準備
(コース概要、ビデオ演習の概要、準備用チェックリスト、ファシリテータ・サポート)
 - デリバリーステップ
 - ファシリテータ・ノート
- 学習者の資料：
 - コース・ジャーナル
 - 配布資料
 - ツール
 - ジョブ・エイド
- eパック
(スライド、ビデオ・ファイル、ビデオ・スクリプト、事前課題)

お問い合わせ

株式会社マネジメントサービスセンター
営業本部

sales_support@msc-net.co.jp

〒100 - 0005

東京都千代田区丸の内1-4-1 丸の内永楽ビルディング15F

www.msc-net.co.jp

